



鳥羽マルシェのビュッフェレストランで人気の加茂牛カレーが「マルシェカレー」として商品化され、市長報告会が行われました。

マルシェカレーは、自社厨房で制作したカレーを加工場で梱包して商品にしており、レストランと同じ味を自宅でも楽しめます。11月29日の〈いい肉の日〉から販売を開始しており、鳥羽マルシェで購入することができます。

加茂牛の生産者である木田三男さんは「健康に育てた健康肉を食べて、みなさんも健康になってほしいです」と思いを語ってくれました。

加茂牛がおいしい！マルシェカレー



11月30日・12月1日、鳥羽高校でロンドンオリンピックのレスリング種目で銅メダルを獲得した日本体育大学の松本隆太郎さんと現役選手の長谷川敏裕さんを招いた練習会が行われました。練習会は日本体育大学と鳥羽市が平成30年9月に「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結したことに基づく連携事業の一環で、2日間で小学生から高校生までの延べ100人が参加しました。

指導をした松本さんは「鳥羽の選手たちはのみ込みが早く、有望。強化や普及発展に努めたい」と感想を話しました。

五輪メダリストとレスリング練習



12月1日、相差町で相差旅館組合による相差ノルディックウォーキングが開催され、約50人が参加しました。

コースは千鳥ヶ浜から海岸線沿いに鯨岬へ向かい、相差漁港、石神さんを通る全長約5km。コース途中で漁をする海女さんの姿も見ることができ、参加者らは休憩しながら、景色を撮影するなどして、相差の自然を満喫しました。

イベントに参加した西出凜さんは「海がキレイで、歩いていて楽しい。海女さんも初めて見ることでできてうれしかった」と感想を話してくれました。

相差ノルディックウォーキング初開催



12月17日、神島保育所の子どもたちが旧園庭でササユリの球根を植えました。この球根は安楽島町出身で千葉県在住の傍島夏生さんが鳥羽のササユリを自宅で育てたもので、子どもたちは傍島さんに教わりながら球根をプランターに植えました。

イノシシや猿による獣害被害が確認されていないことから神島が移植地に選ばれ、子どもたちは花が咲くことを心待ちにしていました。

神島保育所にササユリを植えました